

「オール三島市」でロケ誘致

消防・学校・鉄道…産官学一体で支援

作品通じ魅力発信、観光客増へ期待

三島市で、産官学一体となって映画やドラマ、CMのロケを誘致する動きが本格化する。ロケ隊の希望をワンストップで受け付けてサポートする態勢を築く。作品を通じて市の魅力を発信して観光客増などを狙う。

ロケツーリズムによる「グ」(藤崎慎一社長)と地域創生に全国で取り組む「地域活性プランニング」三島市が先月30日、包括連携協定を締結し、ロケ



三島市の源兵衛川で行われた2014年放送のドラマ「ごめんね青春」のロケ。いずれも三島市提供

の受け入れ組織となる「静岡みしまロケーションサービス協議会」を立ち上げた。

名を連ねるのは、市や警察、消防、市内の高校に加え、伊豆箱根鉄道や三嶋大社、観光協会、商工会議所、旅館組合など約20の組織や団体、企業など。「オール三島市」で、撮影が円滑に進むよう支援する。「地域活性プランニング」から著作権処理や情報発信のノウハウなどについてアドバイスを受ける。



包括連携協定を結ぶ三島市の豊岡武士市長(手前)と地域活性プランニングの藤崎慎一社長

念頭にあるのは、20

14年の秋から冬にかけて放送されたテレビドラマ「ごめんね青春」の

成功体験だ。三島市の高

校を舞台にした学園コメ

ディーで、脚本は宮藤官

九郎さん。錦戸亮さんや

満島ひかりさんが出演し

た。ロケ地として三島北

高校、源兵衛川、三嶋大

社など市内各所が使わ

れ、「みしまコロッケ」

も登場し、ご当地グルメ

が全国区になった。

近隣自治体の成功事例

も参考にする。熱海市は

バブル崩壊後に観光客が

激減したが、市職員が情

報番組のロケをサポート

する「ADさん、いらっ

しゃい！」など官民一体

となった取り組みでV字

回復につなげた。旅やグ

ルメなどの情報番組を主

にサポートしている。

伊東市では、映画やド

ラマが中心。大手映画会

社のプロデューサーらを

招いて、市職員が添乗員

となってお薦めの撮影ポ

イントを巡るロケハンツ

アーを催している。

三島市は、知名度の高

い温泉という観光資源が

ある両市と違って宿泊施

設が少なく、新幹線の停

車駅で名所旧跡が多いに

もかかわらず観光客に素

通りされることが多い。

狙うのは、熱海や伊東の

「いいところ取り」だ。

観光客をいさなうグル

メなどの情報番組はもち

ろん、映画やドラマのロ

ケ地選ばれば、ファ

ンによる「聖地巡礼」が

期待できる。市民が街を

誇り、自信を持つ「シビ

ックプライド」の醸成に

もつながる。「ごめんね

青春」の「夢よう一

度」というわけだ。

三島市の豊岡武士市長

は「協定の締結は県内で

初めてで、産官学が一体

となつてロケ誘致に取り組んでいく」と話した。「伝道師」として全国の自治体に街おこしのこつを伝授して回る「地域活性プランニング」の藤崎社長は、「学校や鉄道も撮影に協力してもらえ

る。ロケ隊にとってこんなありがたい自治体はない」と太鼓判を押した。(南島信也)